

2011年10月26日

各位

大日本住友製薬株式会社

営業本部における iPad2 の導入について

大日本住友製薬株式会社（本社：大阪市、社長：多田 正世）は、多機能情報端末「iPad（アイパッド） 2」（アップル社製）約 1,700 台を、情報活動支援ツールとして営業本部の MR（医薬情報担当者）およびグループマネージャー等に導入することになりましたので、お知らせします。

iPad の導入にあたっては、ソフトバンクテレコム株式会社および SCSK 株式会社と連携し、各種運用環境を整備しながら 2012 年 1 月より営業本部傘下の CNS 事業部および特定機能病院担当の MR から先行導入を行い、以後全 MR へ順次導入を進めていきます。

当社は、MR に対し従来から配布しているモバイル PC に加え、2010 年 10 月より「iPhone（アイフォン） 4」を導入することで、MR の情報対応力と業務効率の向上を図ってきました。今後、更に MR の医薬情報活動を強化するためには、起動性、視認性および携帯利便性に優れた多機能な情報支援ツールが必要であると判断し、この度、軽量かつ高速画像表示、外部映像出力等の新たな機能を搭載した iPad2 を導入することにしました。

当社は、今回 MR に配布する iPad に、デジタルコンテンツ管理・配信プラットフォームとして「MR2GO-DMV」を、また医薬品の安全性に関する情報検索システムとして、医療従事者専用の「安心処方 infobox HD」を採用することにより、MR の情報提供における迅速性および質の更なる向上を図り、MR を取り巻く様々な環境変化にいち早く対応していきたいと考えています。

iPad の活用方法は下記の通りであり、随時機能を拡大、強化していく予定です。

- ・ 当社製品の対面説明及びプレゼンテーション
- ・ 製品基本情報の閲覧（各種改訂案内、添付文書、インタビューフォーム等）
- ・ 各種医薬品の副作用、相互作用の検索
- ・ 当社製品使用症例における安全性情報の確認
- ・ 各種研修及び自己学習 他

一方、既に MR に配布している iPhone に関しても、当社が株式会社ミュートスと共同開発した MR 用自己学習支援アプリの活用および SFA（営業支援システム）の入力・閲覧への対応等により、更なる業務効率の向上に努めてまいります。

当社は、iPhone や iPad のようなスマートデバイスを MR の情報活動支援ツールとして有効活用すると共に、当社が運営する医療情報サイトとのコンテンツの連動等により、更なる顧客満足度の向上と MR 業務の効率化を推進していきます。

以上

* iPhone、iPad は Apple Inc. の商標です。

(ご参考)

・MR2GO-DMV :

SCSK 株式会社が、MR の医薬情報提供活動を支援するために開発した、高い操作性と高速表示を特長とした iPad 上のプレゼンテーションシステムとクラウドサービス基盤上に設けられた管理システムからなるデジタルコンテンツ管理・配信プラットフォームです。

・安心処方 infobox HD :

アイ・エム・エス・ジャパン株式会社が、医師の視点で開発した医療従事者のための医薬品情報検索サイトである「安心処方 infobox[®]」のスマートフォン版、タブレット版アプリケーションです。株式会社 NTT ドコモとの共同開発にて 2011 年 4 月にサービスが開始されています。

○本件に関するお問い合わせ先

大日本住友製薬(株) コーポレート・コミュニケーション部 TEL 06-6203-1407